

# 住民サービスの充実へ！ 大阪の未来を開く

それは「大阪市」を残し、活かしてこそ

HOP

## 1,300億円のコスト不要で、住民サービスは存続！

大阪市が存続すれば、市民プールや老人福祉センター、子育てプラザなどの市民利用施設が守れます。さらに、コスト1,300億円(15年間)の負担がなくなり、特色ある住民サービスが守れます。

例えば

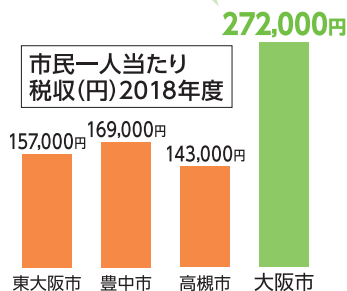
- 18歳までのこども医療費助成
- 敬老パス
- 新婚・子育て世帯向けの住宅ローン利子補助
- 塾代助成

STEP

## どこよりも大きな財源で、暮らし・福祉を充実！

政令市・大阪市は大きな権限、財源があります。90年代のバブル期に失敗した巨大開発のツケはほぼ払い終わり、いよいよ市民のために使えます。

大阪市の大きな財源を活かしましょう



例えば

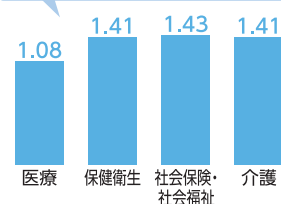
- こども・ひとり親家庭・重度障がい者の医療費助成窓口負担ゼロに (36億円)
- 30人学級 (102億円)
- 市立大学の授業料の半額免除 (16億円)
- 介護保険料の17%引き下げ (85億円)
- 保育士(勤続7年以上)の給与月4万円引き上げ (10億円)

JUMP

## 社会保障、中小企業への税投入で経済成長！

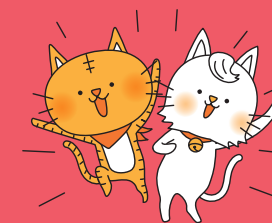
税金の投入は、カジノや「夢洲開発」ではなく、医療や社会福祉、中小企業支援の方が経済効果ははるかに大きくなります。これこそムダを生まず、経済を回復・成長させる道です。

雇用誘発効果 カジノ誘致の1.4倍



医療など4分野への公的資金投入による雇用誘発効果は舞洲インフラ整備の1.08~1.43倍

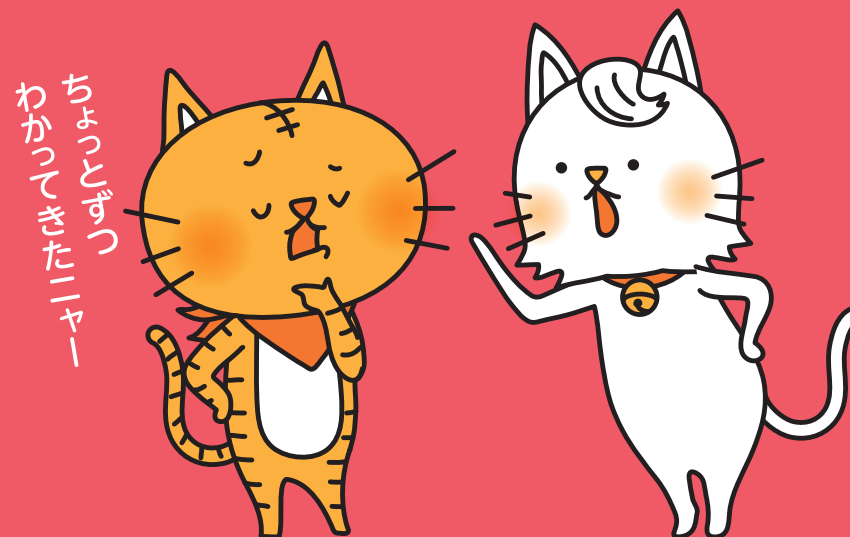
# よくわかる！住民投票Q&A



ハイ、いいえ、こたえてあげよう。

## Q クイズ・デ・住民投票

- ① 「住民投票」で「賛成多数」になったら「大阪都」になる。
- ② 「特別区」ができて、「大阪市」はなくなる。
- ③ 「特別区」で「住民サービス」はよくなる。
- ④ 「都」になったら大阪は成長する。
- ⑤ 「特別区」になっても、市民プールや施設はそのまま残る。
- ⑥ 「二重行政」の無駄はなくなる。
- ⑦ 「特別区」なら介護保険もよくなる。
- ⑧ 大阪市廃止を止めるには、「反対」が必要です。



大阪市を活かすか、壊してなくすのか、ニャー

特設サイト  
公開中!!

<https://thinktokousou.jp/>



よりよい大阪をつくるために  
少しでも疑問があれば、

棄権せずに「反対」票を!